

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学部		
科目名称 [英語名称]	心理学概論 [Introduction to Psychology]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング		
科目コード	111220	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	未定			学位授与の方針 との関連	学科DP1		
授業概要	<p>広く私達が持つ「心と行動の特徴」を学ぶことは、総合的な人間理解の基盤を確立する上で極めて重要である。本講義では、心のメカニズムを究明する学問である心理学が、見えない「心」をどのように研究し、その知見をどのように人間理解に応用するかに焦点を当て、科学としての心理学について解説する。講義を中心としながら、日常的な具体例を通して、私達が持つ「心と行動の特徴」を考えることのできる機会を毎回設けていく。グループディスカッション、グループ発表を通して、理論と実践(日常場面での私達が持つ「心と行動の特徴」やその変化を把握すること)を結び付けていくこととする。</p>						
関連する科目							
授業の進め方と方法	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開する。1回の授業の基本的な構成は下記の通りである； 【前半】講義形式で進め、各回全般的事項に係る「知識・理解」の獲得を図る。 【後半】各回の中心的事項に関して、グループディスカッションや課題解決・探求学習(個人もしくは集団)等を通して学修を深化させるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現させる。</p>						
授業計画	<p>第1回: 心理学の理論と方法 第2回: 発達心理学(1): 人生周期の段階①: 周産期・新生児期・乳児期 第3回: 発達心理学(2): 人生周期の段階②: 幼児期・児童期 第4回: 発達心理学(3): 人生周期の段階③: 思春期・青年期・成人期 第5回: 教育心理学(1): 学習理論 第6回: 教育心理学(2): 記憶の分類と活用 第7回: 教育心理学(3): 動機付けの基礎と応用 第8回: 社会心理学(1): 社会的認知 第9回: 社会心理学(2): 社会的影響力 第10回: 社会心理学(3): 社会的関係 第11回: 人格心理学(1): 情動の基礎と応用 第12回: 人格心理学(2): パーソナリティと知能 第13回: 臨床心理学(1): 心理的障害と心理査定 第14回: 臨床心理学(2): 心理療法 第15回: 振り返りとまとめ</p>						
授業の到達目標	<p>本講義では、ヒトの心の仕組みと働きに関わる理論や実践例を、代表的な研究者の考え方、日常的な具体例を取り上げながら学習することを通して、ヒトの心の仕組みと働きについて深く理解し、自分の言葉でその内容を説明できるようになること、また、実践場面で出遭う様々な問題に関して、「心理学的視点から自分の考えを持てるようになること」を目標とする。</p>						
授業時間外の学修	<p>[予習]指定した教科書から次回の講義範囲を事前に熟読し、次回の講義内容の概略を把握すると同時に、専門用語の意味等を調べておくこと(1.5時間) [復習]授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理すること(1時間)、また授業終了時に示す課題(多くは授業内容に関わる教員採用試験の過去問)に取り組み、資料無しでも解けるようになること(0.5時間)、更に、授業中に議論した内容に関して自分なりの考えをまとめておくこと(1時間)</p>						
課題に対する フィードバック	<p>毎回の提出課題(ミニレポート)は、授業時間に評価・解説を行う。 講義終了後の提出課題(レポート)は、評価後、返却及び解説を行う。</p>	<p>評価方法</p>	<p>以下の項目に基づいて、判断する。 ①毎回のミニレポート提出: 30% ②定期試験: 50% ③レポート: 20%</p>				
テキスト	<p>特に用いない。毎回講義内容に応じた資料を作成し、配布する。</p>						
参考書	<p>「心理学・入門—心理学はこんなに面白い—」(2011、有斐閣アルマ) その他、必要に応じて図書、資料を紹介することとする。</p>						
備考							